

研 修 報 告 書

所属・部署	氏 名	研修実施期間
知多市議会	服部 洋志	令和5年8月17日～18日
研修実施機関名	研 修 名	研修実施場所
全国市町村国際文化研修所	自治体予算を考える	全国市町村国際文化研修所

研修概要	<p>自治体予算を考える</p> <p>○講師: 武庫川女子大学経営学部教授 金崎健太郎 氏</p> <p>①講義: 自治体予算の原則</p> <p>②講義: 歳入予算の基礎とそのチェックポイント</p> <p>③講義: 歳出予算の基礎とそのチェックポイント</p> <p>④演習: グループ討議</p> <p>⑤講義: 財政の現状把握～地方公会計の活用～</p> <p>⑥演習: グループ討議／発表・質疑・まとめ</p>
研修内容	<p>○研修の成果とまとめ</p> <p>1、自治体予算の原則</p> <p> 予算の原則や編成の流れなど予算制度を解説いただき、予算書の読み方やその機能を学んだ。</p> <p> 3月までは執行部側で予算決算を作成してきたが、チェックする側が変わったことで異なる目線で、よりフラットに考えることを意識した。内容は、自治体予算や財政の「イロハのイ」とも言うべき内容であったが、自治体財政の見方と財政健全化法の関係や行政評価を用いた決算審査等々、やや高度なものもあった。一つひとつの基本事項を確認し、より深い理解につながり、非常に有益であった。</p> <p>2、歳入予算と歳出予算の基礎とそれぞれのチェックポイント</p> <p> 自主財源と依存財源、一般財源と特定財源などの歳入予算の基本的な構造や考え方、予算計上に当たっての留意点、歳入予算をチェックするポイント、歳出予算の基本的な構造と考え方、歳出予算をチェックするポイントなどを学んだ。</p> <p>3、グループ討議</p> <p> 各自が問題意識を持つテーマごとに分かれ、グループで意見交換・情報交換。</p> <p> JIAM の研修にはグループでの演習やグループ討議がセットされており、そこで全国の地方議会議員の方々と交流しながら勉強できることが大きな魅力。今回は、コロナ感染症の影響で4年ぶりにグループ討議に参加。1時間ずつ2回のグループ討議では、多彩な地方議員の方々と学ぶ中で、様々な情報交換もできて非常に有意義な研修となった。</p> <p>4、財政の現状把握①財政診断</p> <p> 自治体財政の診断や分析の手法を学んだ。</p>

	<p>自治体財政を1枚に要約した「決算カード」は、日常的に関心を持って見ていないと、そう簡単に財政診断とはいかない。財政データを凝縮した決算カードには、行間に必要な説明等が省略されているので分かりにくいですが、今回の講義では決算カードの行間にあること、行間から読み取るべきことなど、財政診断に欠かせない視点を学ぶことができた。</p> <p>5、財政の現状把握②地方公会計の活用 地方財政の適正化・効率化に貢献する地方公会計の基本と、地方公会計の活用について学んだ。 自治体の損益計算書(行政キャッシュフロー計算書)や貸借対照表、その見方や分析の仕方など、入門編として理解しやすい講義であった。</p> <p>6、グループ討議の発表・質疑・まとめ グループ討議や意見交換の内容を各グループで出し合って深掘りしてまとめ、発表や質疑等を行い、情報を共有し2日間の研修のまとめとした。</p>
感想	<p>北は北海道、南は沖縄に至るまで全国から100人を超える地方議員が集まり、グループワークでは、自治体の予算を深く探求しようとする参加者の意気込みを感じた。今後も知多市の自治体財政を改善するために、さらに知識を深めたいと思う。</p>